



Proud NUMAZU

知ってください 聞こえないこと 手話のこと

だれもが自分らしく お互いを思いやり ともに生きるまち めまづ

大切なことば「手話」

聞こえる人たちが自然に音声を使った言葉で話をするように、聞こえない人（ろう者）たちは、手や指、体の動き、表情などで見て分かる「手話」という言葉を使って考え、表現し、会話をしています。

手話は、聞こえない人たちが守り、育んできた、大切なことばなのです。

沼津市は、令和2年4月1日に「沼津市手話言語条例」を施行しました。この条例は、手話が言語であるという認識のもと、手話や、聞こえないことへの理解を広めることで、誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指すものです。

ぜひ「聞こえないというのはどういうことだろう？」「手話ってなんだろう？」ということを考え、理解を深めてください。

そして、障害のある人もない人も、ともに暮らしやすい社会を作っていきましょう。



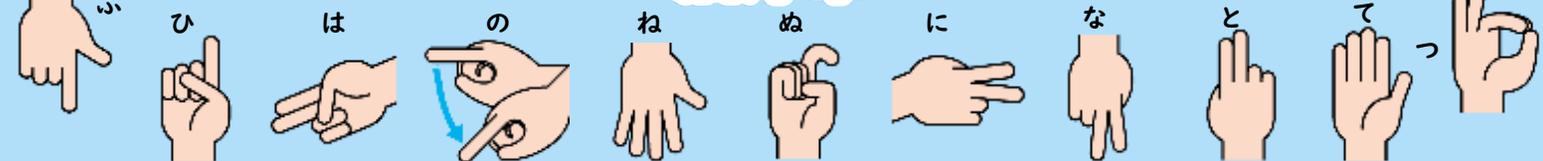
聞こえない人とのコミュニケーション

聞こえない人の中でも、聞こえ方の程度やコミュニケーション方法はさまざまです。本人が希望するコミュニケーション方法をとることが大切です。



聞こえない人のことばである手話を使うのが一番ですが、ノートやメモ帳などに文字を書いて伝えあう筆談や、口の動きがわかるように大きくはっきりと口を開けて話す口話（こうわ）、空間に字を書いて伝える空文字（そらもじ）といった方法もあります。最近では、スマートフォンに入力して見せたり、アプリを使ったりという方法も使われています。

沼津市



手話を覚えよう、使ってみよう！

手話は、手指の動きだけでなく表情や動作の大きさが大切です。

◆ おはよう (朝+あいさつ)



右手のこぶしをこめかみのあたりにあて、おろしながら頭を起こす



両手の人さし指を向かい合わせて同時に曲げる

◆ あなたのお名前は？



人さし指で相手を指さすようす



左手の手のひらに右手の親指をあてる



右手の人差し指を立てて左右に軽く振る

◆ こんにちは (昼+あいさつ)



手のひらを前に向け、交差した両手を扇型に左右に開く



あいさつ

◆ ありがとう



右手を左手の甲に軽くあて、右手をあげてから頭をさげる

◆ こんにちは (夜+あいさつ)



手のひらを前に向けた両手を、顔の前で左右から内側に扇型に交差させる



あいさつ

◆ よろしくお願いします



よい



お願い

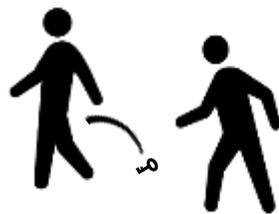
右手こぶしを鼻の前でかまえ、開きながら前に倒し、頭をさげる

こんなとき、あなたはどうしますか？

聞こえに障害のある人たちには、さまざまな困りごとがあります。
聞こえない人がどんなことに困っているか知ってください。

● まちで...

前を歩いている人がカギを落としました。
後ろから「カギが落ちましたよ」と声をかけましたが、その人は振り向かず歩いて行ってしまいました。



聞こえない人かもしれません

その人の肩をたたいて教えたり、前に回ってカギを差し出して知らせたりしてください。
聞こえない人は、外見では障害があることがわかりません。そのため、声をかけられても気づかず「無視している」と誤解されてしまうことがあります。

● 電車で...

急に電車が止まりました。「人身事故のため、緊急停止しました。このままお待ちください」と放送がありました。何が起きたのかわからず不安そうな顔をしている人がいます。



聞こえない人かもしれません

紙に文字を書く、スマートフォンに入力するなど、見てわかる方法で伝えてください。
聞こえない人は、音によつての周囲の状況が判断できません。そのため、音声アナウンスなどに気が付かないことがあります。

お問合せ 沼津市役所 障害福祉課

〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16番1号

電話：055-934-4830 FAX：055-934-2631

mail：syohuhuku@city.numazu.lg.jp



沼津市ホームページ
「手話の普及促進」